



日本共産党 県会議員

松坂
ひでき

県政だより

2016年1月号 2015年12月県議会報告
発行 松坂ひでき事務所 有田郡有田川町庄876

TPP「大筋合意」に不安と怒り!

県内みかん農家にも
大きな影響が

松坂県議は、TPP交渉が「大筋合意」された問題を取りあげ、県内農林水産業への影響と対応をたどしました。



▲県議会で一般質問する松坂県議（12月11日）



▲清水森林組合と懇談（有田川町清水水行政局 10月14日）

和歌山県の林業政策について、日本共産党国会議員団と県内を調査した内容と、寄せられた要望をもとに質問しました。

傾斜の緩い他県のような大規模生産・大規模消費による低コスト競争では和歌山県の森林と地域経済は守れないと指摘するとともに

和歌山型の林業モデルを

県は県産農林水産物への影響額を55億円減、この内かんきつ類で36億円の減と答弁しました。オレングシ牛肉自由化時の影響をもとに、みかんの栽培面積が約1割減少、中晩柑の価格が3割低下し、所得546万円の農家世帯では387万円にまで落ち

込むとの試算を答弁し



▲大門みきし参議院議員らとともに、農家の方々と懇談。TPPの影響やご要望を伺いました。

不安と怒りを
受け止めた対応を

松坂県議は、国産の農産物にとってかわりつつある輸入オレングシや輸入果汁の影響を具体的に示し、「影響は限定的」だとする国の説明を批判。「不安と怒りの声」が広がっている状況を示し知事の

ました。

見解を求めました。仁坂知事は「悪影響を被る面もあるが、TPPは国が総合的に考え、入るほうが日本全体にとって利益が大きい」と判断した結果「だとして安倍政権の主張を代弁しました。

県議会は、TPPに関する懸念を示し農家への支援を求める意見書を、全会派一致で採択しました。



▲搬出間伐の現場を調査（日高川町 10月14日）

ご指摘のとおり」と、バイオマスや人材確保をあげ「和歌山らしい新たな林業を構築してゆく」と答えました。

全国的に橋の耐震落橋防止装置に検査偽装が発覚し、有田川を渡る高速道路の2橋に設置されている装置も溶接不良・強度不足だと判明しました。松坂県議は、落橋防止装置検査偽装や杭打ちデータ偽装問題での県内の状

建設委員会
質問

公共事業の偽装問題



▲検査偽装・強度不足が判明した有田川にかかる高速道路橋の落橋防止装置（有田川町田口）

況を質すとともに、こうした偽装を生まない

2015年産のみかんは、11月12月の雨風により傷や腐敗果が多

減収で
TPPどころではない



く出るなどで収量が激減した農家も多く、「TPPどころではない」というのが現状です。松坂県議は、本年産みかんの状況を質し対応を要望しました。



▲みかん対策を質問する松坂県議

悪天候でみかんに大打撃

また、TPP対策で国に求めているみかん農業支援策は、すでに県市町村で取組んでいる内容であり、同品種であっても改植の補助、モノレール運搬機やレールの更新、作業道



ために、元請け責任の明確化や、発注者として防止策にどう取組むのか質問しました。県は落橋防止装置の不良が19橋で判明し今後修理・交換をすすめることや、杭打ち偽装の物件については報告されていないと答弁。発注者として、元請け業者に適切な施工を求めてゆくと答えました。

などの支援は国待ちとせず更にすすめることや、優良な農地を荒らす前に地域の後継者にバトンタッチできる流

動化対策の強化を求めるとともに、有田みかんのファンを増やそうと、消費者ニーズをつかんだ栽培・収穫・加工

工体験やワーキングホリデーなどにより産地との交流をはかる取組にいつそう力を入れるよう提案しました。



●楽しかった北地区大運動会（旧北小学校 10月18日）



●しみず保田紙行灯アート展（しみず温泉あさぎり10月28日）



●谷崎潤一郎「ナオミの家」移築保存し公開へ（有田川町「牟三荘」12月19日）



●11月5日が「世界津波の日」に（今年の津浪祭にて）



●2015年の国わかやま国体・わかやま大会（紀三井寺公園競技場）



●国体軟式野球を観戦（なぎの里球場 10月3日）



●沖縄で和歌山県戦没者追悼式（糸満市11月25日）



●献血回数が70回に健康に感謝し100回をめざします！（11月2日）